

令和5年

健康福祉委員会

11月27日

豊明市議会

健康福祉委員会会議録

令和5年11月27日

午前11時44分 開会

午後零時04分 閉会

1. 出席委員

委員長	堀内 ちほ	副委員長	ふじえ 真理子
委員	青木 けんじ	委員	浅井 たかお
委員	近藤 ひろひで	委員	三浦 桂司
委員	一色 美智子		
議長	鵜飼 貞雄		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	浅井 俊一	議事課長	深草 広治
議事課長補佐 兼議事担当係長	寺島 慎二	庶務担当係長	福田 悦子

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	土屋 正典
健康福祉部長	中村 泰正	こども保育課長	塚本 由佳
指導保育士	柴田 美由紀		

5. 傍聴議員

岡島 ゆみこ	鈴木 智和	こんどう のぶお	服部 龍一
いとう ひろし	武谷 としお	林 ゆきひろ	毛 受明 宏
月岡 修一	清水 義昭		

6. 傍聴者

2名

午前11時44分開会

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ただいまより健康福祉委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より御挨拶をお願いします。

○市長（小浮正典君） 皆様、お疲れさまでございます。

本日の健康福祉委員会に付託されました案件は、1議案でございます。慎重な審査をいただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ありがとうございます。

続いて、議長より挨拶をお願いします。

○議長（鵜飼貞雄議員） お疲れさまです。

健康福祉委員会、1議案でございます。慎重審議、よろしくをお願いします。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席を願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おき願います。

（市長退席をなす）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了するときも意思表示を明確にされるようお願いいたします。

それでは、議案第81号 令和5年度豊明市一般会計補正予算（第8号）についてのうち、本委員会所管部分についてを議題といたします。

本案件について理事者の説明を求めます。

塚本こども保育課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） それでは、議案第81号 令和5年度豊明市一般会計補正予算（第8号）のうち、こども保育課所管分につきまして御説明いたします。

補正予算書の4ページをお願いいたします。

下の表の第3表 債務負担行為補正です。

保育士・幼稚園教諭応援手当事業は、保育士資格及び幼稚園教諭免許を取得するため、市内にごございます大学に社会人特別選抜にて入学した方に対し、授業料の一部として年12万円を支援するため、その限度額を36万円とし、債務負担行為を設定するものでございます。

なお、社会人特別選抜にて入学された方は、大学等において授業料等が半額に免除される制度がございますので、連携して支援をし、さらに免許取得後、市内の民間保育園等での就労につなげる支援を考えております。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 すいません、保育士や幼稚園教諭の資格取得は、通信制でもできます。それで、学校法人桜花学園だけでなくとも可能ですが、なぜその特定の教育機関だけに限定したんですか。先ほど本会議場のほうで包括協定ということはお聞きしたんですけど、少し、内容がちょっと異なるので質問します。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

塚本こども保育課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） まず、桜花学園との連携ということなんですが、市内にある大学ということがまず一番にごございます。そちらと連携していくということと、あと包括協定を結んでいるということがございます。市内にある大学で保育の免許を取れるというところがありますので、一番最初にそちらと一緒にやっていきたいということでごございます。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 今回はそのような1つの大学ですけど、内容として、今後もですけど、通信制で取れるというところもありますし、ほかの大学でもそういう資格を目指している

という方もいるので、そちらのほうに支援をするというお考えはありますでしょうか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

塚本こども保育課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） 通信制につきましては、実際、保育士免許を持たず勤務している方に対しては補助金制度がございます。

実際、勤務されてる方以外の方にはちょっとないものですから、そちらのほうはまだという形にはなっていくと思いますが、今回、桜花学園以外のところというところも、またさらに、今後の検討にはなっていくかと思いますが、まず、一番最初といたしましては、市内の大学でということをお願いしたいと思います。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 ちょっと、本当に基本的なことなんですけど、申し訳ないですけども、桜花学園というのは、短大の部分、4年制の大学、あるのかどうか、また、短大だけなのか、ちょっと教えていただきたいと。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 塚本こども保育課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） 桜花学園の中には、まず、4年制大学の桜花学園大学がございます。あと、2年制の名古屋短期大学がございます。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 これも少し本会議場に似てますけど、ちょっと違うのでまた質問します。

卒業後、市内で働くことが義務ではなく、保育士職等に就かなくてもいいとも聞きました。市民の税金で支援して、市外で働いても保育士等の職員に就職しなくても構わないというのは、税金の使い方として理解が得られないのではないのでしょうか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

塚本こども保育課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） こちらの授業料の12万円については、確かに市内の民間事業所に必ず就職しなければならないということにはなっておりませんが、この後に民間園に就職をつなげるための施策として、また3年間最大で72万円を支援していくという施策を考えておりますので、そちらにつなげていきたいと考えております。

なお、保育士不足というのは豊明市内だけのことではなく、まず、保育士の資格を持った人をまず増やすということが大切かと思っておりますので、こちらの施策になっております。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 これまでも、市内の保育士等の待遇が悪いので他市へ流れるという問題がありましたけど、近隣市町との保育士等の待遇の比較は行いましたでしょうか。また、その結果はどうでしたでしょうか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） 保育士の待遇といった面では、公立園につきましては公務員でございますので、そちらの給与のほうとなりますので、こちらのほうとしては何とも難しいところはありますが、会計年度任用職員につきましては、若干比べさせてはいただいておりますが、あまり詳しくは申し上げられませんけれども、近隣と比べまして若干低い位置にあるのかなというふうにはありますが、一番最低とかそういったわけではございません。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 浅井委員に申し上げます。

議案に沿った質問をお願いします。

副委員長。

○ふじえ真理子委員 これ、対象者なんですけれども、年齢制限とかっていうのはあるんでしょうか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 塚本こども保育課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） 一応、社会人選抜のほうに入試のほうの制限がございますが、そちらのほうは22歳以上となっております。そちらのほうに入学できるということがこちらの補助金の制度に合致することになりますので、22歳以上という形にはなりません。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 副委員長。

○ふじえ真理子委員 確認で、上限はないですか。60でも、70でも。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） 上限はございません。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

副委員長。

○ふじえ真理子委員 この債務負担行為の関係で、ちょっと本会議場で間違えてしまったんですけれども、新聞報道のほうで11月21日に報道、記者発表の後されております。ここで議会の議決を経てとか、今後の補正で出すよという明記がないんですけれども、市としては、そういった、前にもあったんですけれども、こういう記事に対してどういうふうに思われてますか。何か報道機関に注意というのか、抗議というのか、どういうふうに捉えてらっしゃいますか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

塚本こども保育課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） 新聞報道につきましては、議会の議決というお話が確かに載っていなかったかなというふうに記憶しております。どうしても新聞社のほうの記載になりますので、こちらとしては校正とかがあるわけではありませんので、こうしてくださいといったことがちょっとできかねるので、広報はこちらで、もちろん文章を作成しておりますので、きちんとやっていきたいと思っております。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 副市長。

○副市長（土屋正典君） 少し補足させていただきます。

まず、私どもはこういった問題に関しまして、いつもそういった形で議会の議決を経てからというような形で説明はしっかりさせていただいておりますが、いわゆる編集権というものも、要は一言一句全てこちらが指示するとかそういったこともございませんので、基本的には、こういった形で、要は方針を明らかにするといったことが記載されておりますので、いつから何を指すといったことに関して、こういった市政、市の方針を示すことに関しては特におかしな話ではございませんし、ましてやこれに関しましては、議案が出されたのとほぼ同時でやっておりますので、要は、議案を出すということは、もうそこから何をやろうとしとるかということは、我々が目指すところは読み取れることとなりますので、ですが、そのことについて、また特に重要なものに関しましては、市民の方にしっかり説明させていただくという意味も含めまして事細かに説明しとるわけでございまして、それを記者さんがその意を酌んで編集して載せたと、こういったことでございますので、決して、いわゆるルール違反とか禁じ手でもございませんし、当然のことながら議会のことを軽視しとるものではございませんので、そういったこちらは認識でおりますので、

よろしく御理解をお願いいたします。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 もちろん報道の編集権は報道側にあるんですけども、今回こういった記事が出たことについて、先ほどの御答弁だと、構わないよ、こういう書き方もあり得るよという認識でよろしいですか。それとも今後もこういった出された、出されるということも許容範囲という理解でよろしいですか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 副市長。

○副市長（土屋正典君） おっしゃるとおりでございます。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 すいません、関連ですけど、卒業後、市内で働く人に月2万円、最大3年補助というのがあるんですけど、これって議会での決定もされてなくて、提案もされていないので、こういう広報は議会の軽視、議会無視ではないでしょうか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

塚本こども保育課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） 今回の議案のほうは債務負担行為としまして、来年度の入学の方の授業料の補助ということで上げさせていただいておりますが、卒業後となりますと、最短で2年、大学の場合は4年、それ、後にまた助成という形でまた議案で上げさせていただく形になるかと思っておりますので、今回はそういった意味で債務負担行為が授業料のほうだけというふうになっております。

決して議会のほうを軽視しているわけではないんですけど、議案上、一緒に上げるにはちょっと年がちょっと先過ぎるのでということで御理解いただければと思います。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

近藤委員。

○近藤ひろひで委員 私も保育士になりたいなと思ったことがあったものですから、今からでも目指せるということですね、年齢の案件でいえばね。美容師もちょっと目指そうかなとも思ってるんですけど。

お聞きすると、確認の質問ということで、当然、特別選抜で入られる方は授業料を払われるわけですからね、2分の1、自己負担もされると。それについては市が応援して、その後、市内の幼保育園に就職していただければという、これは強制的なものではありませんので、私は先行投資かというふうに思うんですね。

ただ、極端なことを言うと、これ、関連があると思ってしゃべりますが、小学校と違って給食費補助していますよね、ちょっと。給食費補助したからずっと豊明市で暮らせよと、そんなような強制的なことは言えないと思うんです。あくまでも先行投資であり、ただ、幼稚園、保育園の保育士の方が不足しているっていうところで、何らかのアクションを起こさないといけないというところへのファンダメンタルなところの開発というような捉え方でよろしいですか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。できますか。

（質問だよ、質問だよの声あり）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 塚本こども保育課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） おっしゃるとおりです。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

近藤委員。

○近藤ひろひで委員 この議案、賛成といたします。

詳しくは議場で青木委員がします。よろしくお願ひします。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございますか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 議案第81号 令和5年度豊明市一般会計補正予算（第8号）のうち健康福祉委員会所管部分について、反対の立場で討論いたします。

4ページ、第3表、債務負担行為の保育士・幼稚園教諭応援手当事業、限度額36万円ですが、保育士等の不足に本気で取り組むなら、対象を特定学校法人だけに限定すべきではありません。通信教育なども含め、幅広く行うべきです。

また、市民の税金を使うのに、市内での就労や就労そのものが任意になっていることも理解が得られません。市内の保育士等の労働条件があまりよくないということもありますし、市外流出する可能性も十分あり得ます。少なくとも何年かは義務づけるべきです。

さらに、議会が何も知らないうちに、まるで決まったかのような情報発信は明らかな議会軽視であり、議会無視です。

以上により、反対といたします。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 これ、桜花学園の中にある名短への支援ということで、全国的に短大の入学者が大幅に減少していると新聞記事は今、掲載されております。名短の方の多くが保育士になっておられます。市内にあるこの名古屋短期大学に光を当てて応援していただくということなので、賛成といたします。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 私は、この市内の学園、短大、大学とのそういった連携をして、こういった取組というのは評価したいんですが、先ほどやり取りで、情報発信の仕方の部分で編集権はもちろん報道のほうにあるんですけども、それを受けての当局側の受け止めが、これはいいんだというふうな認識ということをお答えになられて、それはちょっといかがなものかなというふうに自分の中ですごくあって、今後はこういうことあってほしくないし、これが初めてのことでないので、そこは改めていただきたいという思いがありますので、反対の立場にしときます。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第81号のうち、本委員会所管部分については、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 賛成多数であります。よって、議案第81号のうち、本委員会所管部分については、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ありがとうございます。委員会報告書については、例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、御苦労さまでした。これにて健康福祉委員会を閉会いたします。

午後零時4分閉会